

神の未来の正しい行政

見て、正しい王がやって来る！
そして、誠実な王子たちが彼のもとを治めるだろ
う。
イザヤ書32:1

2025年1月20日、ワシントンDCの国会議事堂の階段で、第47代アメリカ合衆国大統領の就任式が行われる。その時、ドナルド・トランプは、多くの人々が地球上で最も強力に影響力のある国家だと感じている、選挙で選ばれた指導者になる。2016年に当選し、2020年にはジョー・バイデン現大統領に敗れ、2期目の大統領となる。そのため、トランプ次期大統領は、2期連続で当選し、その間に敗北を喫した2人目の米国大統領となる。他の例は19世紀後半のグローバー・クリーブランド大統領である。

異例の選挙サイクル

最近終了した選挙サイクルは、控えめに言っても、状況や出来事において最も異例なものだった。まず、2020年に苦杯をなめたトランプ前大統領が再出馬するかどうかという問題があった。2022年11月に2期目への立候補を表明したことで、これは比較的早い段階で答えが出た。その5ヵ月後の2023年4月、バイデン大統領が2期目の出馬を表明した。これにより、両候補がホワイトハウスで2期目の選挙キャンペーンを行うことになった。

バイデンとトランプは、2023年の残り期間から2024年にかけて選挙キャンペーンを始めたが、当然ながら、立候補者の間では当たり前になっている政治的レトリックを展開した。それぞれが在任中のそれぞれの記録を宣伝し、他方を厳しく批判した。また、両者とも有権者に対し、もう一方の候補に投票することは、国と世界に恐ろしい結果をもたらすに違いないと繰り返し警告した。

バイデン大統領の年齢と精神的な鋭敏さに関連した、選挙戦における2つ目の異例な出来事が徐々に起こった。選挙戦が2024年の夏に向かって進むにつ

れ、バイデン大統領が報道陣や一般市民に対して発言する際に、うっかり混同してしまうことが何度もあったことから、当時81歳、現在82歳という彼の年齢（

）が進むことが懸念されると多くの人が考えるようになった。これは、6月27日にバイデンとトランプが選挙戦初のテレビ討論を行ったときに悪化した。その後、両党のほぼすべての政治評論家が、バイデン大統領の討論会のパフォーマンスは非常に弱かったと認めた。

そして、討論会から1カ月も経たない2024年7月21日、バイデン大統領は大統領2期目への立候補を取りやめることを表明し、後任としてカマラ・ハリス副大統領を支持することを発表した。ハリス副大統領は、そのわずか15日後の8月5日、バイデン大統領を支持していた代議員による点呼投票によって、民主党の指名を正式に獲得した。

3つ目の異常事態は、トランプ前大統領をめぐる、7月と9月の2回に分けて暗殺未遂事件が発生したことである。

、1回目の暗殺未遂事件では、トランプ前大統領は

右耳に軽傷を負った。回目の暗殺未遂は、容疑者が実行に移す前に阻止された。これらの暗殺未遂事件はいずれもトランプ氏の支持基盤を固めるものであったが、同時にバイデン大統領の辞退を受けてハリス候補も確固たる支持を得た。

大統領選挙戦が最後の2ヶ月に入り、選挙前の世論調査ではほとんどが大接戦を予想していた。9月10日、ハリス副大統領とトランプ前大統領は選挙期間中最初で唯一の討論会を行った。この討論会での彼女のパフォーマンスを受けて、ハリスの世論調査の数字は数ポイント上昇した。しかし、時間が経つにつれ、世論調査は再び拮抗し、11月に向けてトランプ氏がわずかにリードしているという世論調査もあった。

いよいよ選挙

11月5日、待ちに待った選挙が行われた。1億5千万人以上の人々が次期大統領を選ぶために全米の投票所に足を運んだ。開票が終わると、東部から西部にかけて、各州から結果が出始めた。選挙の夜が更けるにつれて、
、トランプ前大統領が多くの世論調査の予測よりも

はるかに健闘していることが明らかになった。この傾向は維持され、翌朝にはほとんどの報道機関がトランプ氏の勝利を宣言し、次期大統領となった。

その後数日間、残りの票が集計された結果、ドナルド・トランプが50州のうち31州を制し、312票の選挙人団票を獲得したのに対し、カマラ・ハリスは19州を制し、226票の選挙人団票を獲得した。最新の集計では、トランプは一般投票でも250万票弱を獲得し、7600万票以上を獲得した史上初の共和党候補となった。

未来は？

そこで私たちは問う：次の4年間はどうか？新大統領は選挙公約を守れるだろうか？少なくとも今後2年間は共和党が支配することになる議会は、トランプ大統領のアジェンダに沿った法案を通過させることができるのだろうか？もちろん、これらは現時点では未解決の問題である。しかし、もし過去の歴史が何らかの指標になるのであれば、どちらの党の候補者が掲げた公約の大半は、大統領になった後は、道半ばで終わるか、党派政治によって薄められるかのどちらかである。

しかし、キリストに従う者にとっては、聖書に目を向けなければならない。聖書には、私たちが生きている時代が混乱と悩みの時代であることを示す多くの預言が記されている。(ダニエル12:1、マタイ24:21)。このため、クリスチャンの関心は、「誰が」大統領になったか、また、彼らが打ち出した政策に個人的に賛成するか反対するか、ということに向けるべきではない。むしろ、その時々々の国々の指導者が誰であろうと、神が人類に対する長期的な計画と目的を実現させるために、地上のすべての事柄を支配しておられるという事実を考えるべきである。

神の計画とは何か？簡単に言えば、最初の両親が罪に陥って以来、人類を苦しめてきた罪と死の状態から、過去も現在も、死者も生者も、あらゆる国の人類を救い出すことである。私たちの愛する神の願いは、"すべての人が救われ、真理を理解することを望んでおられる方

"である。(1テモテ2:4)。このことは、聖書がはっきりと指摘しているように、男性や女性の管理によるのではなく、御子、私たちの主であり救い主であるイエス・キリスト以外の誰でもない、正しい管理によるのである。

聖書的新政権

聖書を学ぶ私たちの最大の関心は、神の御言葉に約束された新政権にある。この政権もまた、「選挙」、より正確には「選別」を必要とする。この選出は、メシアであるイエスから始まった。預言者イザヤはイエスを指してこう言う。彼はわたしに選ばれた者、わたしを喜ばせる者である。わたしは彼にわたしの霊を置いた。彼は諸国民に正義をもたらす。(イザヤ42:1)。神の「選民」には、ペンテコステの日以来のイエスの忠実な信奉者も含まれる。使徒ペテロは、これらの人々についてこう語っている。「あなたがたは、神が召され、選ばれた者たちの中に本当にいるのだということを証明するために、懸命に働きなさい。そうすれば、決して挫折することはありません。"2ペテロ1:10

新約聖書には、この選びについて次のような記述がある：「神が愛する聖なる民となるためにあなたがたを選ばれたのですから、あなたがたは、心優しいあわれみ、親切、謙遜、柔和、忍耐を身にまといなければなりません。"、"神がご自分のために選ばれた私たちを、あえて非難する者があろうか。" (コ

ロサイ人への手紙 3:12、ローマ人への手紙
8:33)。(コロサイ
3:12、ローマ8:33)。これらの人々は、"天の召し
にあずかる者
"として神によって選ばれており、"父なる神の予知
に従って選ばれた者
"である。(ヘブル3:1；1ペテロ1:2)。神は、イエス
を通して、"御使いたちを遣わし、地の果てから天
の果てまで、四方から御自分の選民を集める
"ときに、選民のプロセスを完成されるのである。
マルコによる福音書13章27節

こうして、神の選びの業は終結する。地上のすべての
の家族を祝福する新政権の働きは、キリストが
"義の太陽が翼に癒しをもって昇る
"ときに起こると描写されている。(マラキ4:2)。そ
れは、回復された完全な地球で従順に生きたいと願
うすべての人に、喜びと平和と永遠の命をもたらす
だろう。すべてはこの新しい政権によって成し遂げ
られ、人類家族のために、愛、憐れみ、正義、知恵
、力という神の素晴らしい人格的属性に基づいて実
行される。

管理の意味

administrationという言葉の辞書的定義は、「管理する行為または過程；行政任務の遂行；公務の執行；管理する人の組織（）」である。動詞の形である "管理する" は、"管理する、監督する、分配する、奉仕する、管理する、実行する" と定義されている。完全に献身したキリスト信者は、現在のクリスチャンの歩みの中で、この方法を学ぶ。

この新政権は、"選民" の一員になろうと努力する者たちが、将来の仕事のために現世できちんと準備することを求めている。それは、「この世の行動や習慣を真似てはならない」ということではなく、「神があなたの考え方を變えることによって、あなたを新しい人に変えてくださる」ということである。ローマ12:2

クリスチャンとして、私たちは天の御父を心から愛すべきであり、それゆえ、聖書における管理者と行政官の定義に関心がある。新約聖書には、管理という言葉が2回出てくるが、これはギリシャ語の

"diakonia

"から訳されたもので、ミニストリーや奉仕という意味である（1コリント12:5、2コリント9:5）。（1コリント12:5;

2コリント9:12）。第2コリント8:19と20に見られる動詞形administerは、ギリシア語の "diakoneo" から来ており、これは奉仕や奉仕を意味する。英語のdeacon（助祭）

はこのギリシャ語に由来し、宣教する者、仕える者と関係している。イエスはまた、弟子たちに奉仕の教えを授ける際にもこの単語を用いられた。マルコによる福音書10章45節

多政

コリントの信徒への手紙一12章5節で、使徒パウロは言う。"奉仕にはさまざまな種類がありますが、私たちは同じ主に仕えています"。クリスチャンの奉仕には確かにさまざまな種類があるが、神はそのすべてを指示しておられる。パウロはここで、献身的なクリスチャン一人ひとりが、主にささげるべきもの、主の奉仕に用いられるべき才能を持っていることを暗示している。私たちが自分自身をささげるのは、キリストのからだの中で互いに建て上げるた

めなのです。(ユダ1:20、1コリント12:12、25、27)。
そうするとき、私たちは天におられる父を敬う
のです。キリストのからだのさまざまな成員は、こ
の管理職としての役割を果たすための訓練において
、互いに協力し合い、互いの不完全さ、欠点、弱さ
を相殺し、補い合うことを学ばなければならない。
私たちは、イエスとひとつになることによって、こ
のことを学ぶのである。イエスは私たちを招いてお
られる：「私のくびきを負いなさい。わたしのくび
きは負いやすく、あなたがたに与える重荷は軽いか
らである。」(マタイ11:29,30)。(マタイ11:29,3
0)。この結びつきの中で、私たちはキリストのから
だ()における交わりの特権と、他のからだのメンバー
との協力の仕方について学ぶ。

私たちは、まさにキリストと共にある "くびき仲間
"なのだ。パウロはフィリピの信徒への手紙4章3-
4節でこう語っている。彼はその考えをこう締めく
くっている。もう一度言います。キリストの家族に
属する者は皆、愛と交わりという一つの絆で結ばれ
ているのだから。そうすれば、兄弟たちと共通の関
心を持ち、彼らに対する信頼、共感、調和を持つこ

とができる。これは、神の王国の間に人類の世界が受ける訓練と同じである。そのとき、すべての人は、御父の新しい統治のもとで、御父に栄光と賛美と誉れを捧げることを学ぶだろう。

選挙プロセスの資金調達

現世の選挙プロセスでは、新政権のための選挙運動に資金を提供するために富が必要とされる。候補者の資質や、多くの場合、対立候補の欠点や弱点を知らしめるために広告が必要となる。興味深いが、信じがたいことかもしれないが、最近終了したアメリカ大統領選挙キャンペーンには、合わせて、159億ドルが費やされたと推定されている。新しい正しい政権を準備するための神の選挙プロセスは、なんと異なっていることだろう。イエスが言われたように、富は妨げになる：「金持ちが天の御国に入るのは非常に難しい。マタイ19:23

対照的に、パウロは、福音を広める働きをしている自分自身とその共同労働者について、「私たちは貧しい者ですが、霊的な富を他の人々に与えています。(2コリント6:10)。これらの忠実な神の僕たちは、希望、信仰、愛、そして神が豊かに与えてくださ

る様々な神の恵みにおいて、多くの人々を豊かにした。「エルサレムの信徒たちの必要を満たし、喜びをもって神に感謝を表すのである。

(2コリント9:12)。使徒は続けて、エルサレムの兄弟たちが神をあがめるのは、"彼らとすべての信者に対するあなたがたの寛大さのためである"

13節と述べている。

犠牲の必要性

新しい、正しい、王国の統治のための私たちクリスチャンの訓練のもう一つの部分は、真理と正義の大義のために、犠牲を払うこと、

、あるいは命を捨てることである。私たちはこれを特権と考えるが、世間は犠牲を異なる目で見ている。ある人々にとっては、犠牲は狂信的なものであることを意味し、実際、多くの狂信的な殉教者がいる。

イエスに従う真の者たちは、一日一日、一時間一時間、一体験一体験、与えられたすべての機会において、神に犠牲を捧げ続ける。私たちは、自分の小さなすべてを捧げるのだ。私たちの犠牲は小さいかもしれないが、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃

べてをささげたいという願いは、パウロがテモテにこう言っている。あなたの進歩が皆に分かるように、自分の仕事に打ち込みなさい。"（1テモテ4:15）

。(1テモテ4:15)。捧げることの最初のレッスンは、天の父に心を捧げることであったが、これはすべてを捧げることにつながる歩みの始まりに過ぎない。パウロはテモテに、"満ち足りる真の敬虔は、それ自体大きな富です"（テモテへの手紙第一6章6節）と語っている。（1テモテ6:6）。それは、信仰、徳、知識、節制（自制心）、忍耐、兄弟愛、そして最も重要な愛と並ぶ、クリスチャンの梯子の重要なステップのひとつである。2ペテロ1:4-8

このような愛は、聖霊の助けによって育まれなければならない、偽善的であってはならない。それは本物の、心からのものでなければならないし、奉仕や言葉によって表現されるものでなければならない。詩篇の作者は私たちのためにこう語っている。"主よ、わが岩、わが贖い主よ、わが口のことばとわが心の黙想とが、あなたに喜ばれますように"。（詩篇19:14）。この愛は、神、その御子キリスト・イエス、キリスト

にある私たちの同胞に対するものであり、世に対する、さらには私たちの敵に対する憐れみ深い愛を伴っている。

パウロは、この愛についてさらに次のように書いている。あなたがたの根は神の愛の中に伸び、あなたがたを強く保つでしょう。そして、神の愛がどれほど広く、どれほど長く、どれほど高く、どれほど深いものであるかを、神のすべての民がそうであるように、あなたがたも理解する力を持つことができますように。キリストの愛はあまりにも偉大で、完全に理解することはできないが、あなたがキリストの愛を経験することができますように。そうすれば、あなたがたは、神から与えられるすべての満ち満ちたいのちと力によって、完全な者とされるでしょう」。エペソ3:17-19

よろこびつたえる

この未来の管理のための私たちの訓練のもう一つの側面は、良い知らせ "御国についての良い知らせ"を広めることにある。(マタイ24:14)。パウロは、イザヤ書52章7節を一部引用してこう書いている。しかし、主を信じないで、どうして主を呼び求め

ることができようか。主について聞いたこともないのに、どうして主を信じることができようか。また、だれかが彼らに告げなければ、どうして彼について聞くことができようか。また、だれかが遣わされることなく、どうして行って伝えることができようか。だから聖書は言うのだ。"良い知らせを伝える使者の足は、なんと美しいことか。ローマ10:13-15

イエスの力

王国の統治が現実のものとなるとき、こうして訓練された者たちは神に用いられるだろう。全人類のための回復計画を著し、奇跡を起こす力によってその成功を保証するのは神である。イエスはその計画の支配者であり、人々によって選ばれたのではなく、神によって選ばれた。イエスは20世紀近く前に地上におられたとき、敵に殺されましたが、神の力によって死者の中からよみがえらされたのです」(ピリピ2:7-11)。(ピリピ2:7-

11)。復活後、イエスは弟子たちにこう告げた。"わたしには、天においても地においても、すべての権威が与えられている。"マタイ28:18

イエスに与えられた "すべての権威"を用いて、イエスは地上の人々に対する神の支配を確立することに何の困難も感じないだろう。ペンテコステ以来、イエスとともに苦しみ、死んできた忠実な信奉者たちが、その支配の中でイエスと共にある。彼らもまた、聖書（ ）が "最初の復活"と表現しているように、死者の中からよみがえられ、イエスとともに神の統治を受けるのである。黙示録20:6

使徒ペテロが「新しい天と新しい地、そこには義が宿る」と語っているように、これらは新しい社会秩序における目に見えない霊的支配者となる。(第2ペテロ3:13)。彼らの人間的な代表は、過去の時代の復活した古代の価値ある者たちであり、その最初の者が正しいアベルであり、最後の者がバプテスマのヨハネである。これらもまた、「全地の君主」として、新しい王国が罪と死への束縛から人々を解放する準備が整う直前に死からよみがえる。(詩篇45:16、イザヤ32:1、ヘブル11:1-

40)。しかし、最も重要なことは、神の奇跡を起こす力が、人々と国々の現在の問題を解決する神の計画の成功を保証するということである。

才知縦横

神の王国（政府）におけるこれらの古代の価値ある者たちは、キリストの権威の下で直接機能する。彼らは皆、キリストが人々を裁き治める正しい原則（）と心から調和する。これらの原則はなんと素晴らしいことだろう！

イエスは、その神の政府でイエスとともに働くことになる人々のさまざまな対立する要素や多様な利害をなだめる必要はない。政党政治も「ロビー活動」もない。イザヤが預言したように、「イエスは、その目で見て裁くこともなく、その耳で聞いて戒めることもない」。(イザヤ11:3)。地球の新しい王として、イエスは人の心を読むことができ、その心の奥底にある思いを知り、理解される。選民を通して、公言していることではなく、その人の心の中に本当にあることに従って人々を扱うようになる。このことが行政にどのような変化をもたらすか、想像してみしてほしい！

"彼は義をもって貧しい者を裁き、地の柔和な者のために公平をもって戒めるであろう"。(4節)。こ

の正しい王の支配の下で、全人類の正当な欲望が満たされる。

全員が受益者

貧しい者、柔和な者は、その時、自分たちの代弁者を持つことになる。ダビデはこの来るべき王についてこう書いている：「彼は、貧しい者が彼に叫ぶとき、彼らを救い出し、彼らを守る者のない虐げられた者を助ける。彼は、弱い者、貧しい者を憐れみ、彼らを救う。彼らの命は彼にとって尊いからである。"詩篇72:12-14

この詩篇の11節にはこうある：「すべての王は彼の前にひれ伏し、すべての国は彼に仕える。偉大で力ある者も、柔和で謙遜な者も、この新しい王の美德と資質を認めるだろう。彼は富める者を甘やかし、貧しい者を搾取することはない。また、貧しい者を高めて富める者を滅ぼすこともない。誰もが公平に、公正に扱われる。

キリストの支配の効果を表す象徴のひとつに、谷は高くなり、丘は低くなるという描写がある。(イザヤ40:4、ルカ3:5)。これは、地上のすべての恩恵

が公平に分配され、神が「全地にわたってすべての国民を創造された」（使徒17:26）という認識を示している。神の立場からは、公爵や領主は存在せず、小作人や貧民も存在しない。

それ以上に素晴らしいのは、主の政府が、民に健康と命を与えるという事実だ。「イスラエルの民はもはや、「私たちは病んでいる。(イザヤ33:24)。これが、神がイエスの敵がイエスを死に至らしめることを許された理由であり、イエスが自ら進んで死に身を委ねられた理由である。それは、イエスの支配権が瀕死の民族の上にあるのではなく、生命を回復しつつある民族の上にあるようにという神の計らいの一部であった。(使徒3:20と21、1コリント15:22)。それゆえ、人類を死から贖うためには、まずイエスが死ぬことが必要だった。パウロは、イエスは「すべての人のための身代金」としてご自身を捧げられたと書き、さらにこう付け加えた。
1テモテ2:5-6

イエスは初降臨のときにご自分を身代金として捧げられたが、このことに関する輝かしい真理が証しされるのは、すなわちすべての人に知られるようになる

るのは、イエスの再臨のときである。この定めを知ったとき、キリストを通して神の恵みを受け入れ、「その肩」の上にある「政府」の掟に従う者は皆、死ぬ必要がなくなる。(イザヤ9:6と7)。彼らは完全な存在に回復され、永遠に幸せに生きる。私たちは、この義と祝福といのちの未来の統治を、どれほど待ち望んでいることだろう！